

このためOFIXでは、「災害時外国人支援体制の強化」を主要事業に掲げ、外国人の方の安全・安心をサポートする多言語支援体制の整備に取り組んでまいります。

「OFIX 中期経営計画（平成27-29年度）」
http://www.ofix.or.jp/ofix/profile/pdf/c_plan24.pdf

【02】事業報告

■大阪府災害時多言語支援センター運営訓練

実施日：1月17日(火)
参加者：50名

大規模災害時に、大阪府と共同設置する「大阪府災害時多言語支援センター」の運営訓練を大阪府とともに実施しました。センター開設時の円滑な運営を目的とする訓練で、今回は、「外国人電話相談」訓練も実施しました。

1部の講義では、センターの仕組みや役割についての説明後、参加者の担当業務について、運営マニュアルに沿って進め方を確認し合いました。

2部は、多文化共生マネージャー全国協議会副代表の高木和彦氏を講師にお招きし、実地訓練を実施しました。

会場のあちらこちらで、質問や業務報告の声が飛び交い、また「外国人電話相談」の担当スタッフは、あらかじめお願いしていたボランティアの方からの被災に関する相談に、緊張した面持ちで対応していました。さらにメディアの取材も入るなど、訓練会場は熱気に包まれ、まさに開設中のセンターさながらの雰囲気となりました。

最後の“振り返り”では、訓練で「出来たこと」、「出来なかったこと」を整理し、新たな課題を見出し、情報共有を図りました。来年の訓練に向け、課題解決に取り組んでいきます。

★ 災害時外国人支援（防災・災害時訓練）★

■ 茨木市国際親善都市協会・OFIX共催事業「市民と在住外国人のふれあい交流」

実施日：2月24日(金)
参加者：25名

住外国人と日本人が、災害発生時・発生後に命を守るための知識を身につけることを目的とし、大阪市立阿倍野防災センターの防災体験ツアーに参加しました。

ツアーには震度7のバーチャル地震体験などのメニューが含まれ、これまでに地震を経験したことがない参加者も、多くの防災についての知識を得ることができたようです。

■（公財）とよなか国際交流協会・OFIX共催事業

「多文化共生フォーラムとよなか2017大規模災害時における外国人支援 -今後のめざすべき方向とは-」
実施日：3月11日(土)
参加者：82名

フォーラムでは、東日本大震災で被災された佐々木アメリカ氏による講演の後、市民団体からの災害時外国人支援の活動報告と、関係機関等によるパネルディスカッションが行われました。

行政・協会・市民や関係機関等それぞれの立場から、今後の災害時外国人支援のあり方について考えるきっかけとなりました。

■（公財）吹田市国際交流協会(SIFA)・OFIX共催事業

「大阪市立阿倍野防災センター見学ツアー -日本語学習から実地体験へ!-」
実施日：3月18日(土)
参加者：38名

119番通報の体験コーナーでは、通報したい内容を日本語で伝えるものの、なかなか聞き取ってもらえないなどハプニングもありましたが、通訳ボランティアの協力もあり、何とか全員が全ての見学行程を終えることができました。

本ツアーでの火災発生防止についての学習や、震度7の地震体験によって、防災への理解をより深められたようです。

★ 外国人相談事業 ★

- 平成28年度第2回大阪府外国人向け
行政情報提供窓口相談員ネットワーク会議
実施日：1月23日(月)
出席者：22名

前半の座学では、学校法人エール学園理事長 長谷川恵一氏、キャリア支援室長 西村康司氏を講師にお招きし、「大阪で学ぶ留学生が抱える課題」というテーマで、外国人留学生の現状について講義していただきました。

後半のグループディスカッションでは、参加者による事例発表と、各窓口の取り組みについて活発な意見交換が行われました。

- 門真市「外国人一日相談会」
実施日：2月10日(金)
相談件数：7件

今回初めて門真市との共催で開催した相談会では、行政書士、社会保険労務士等の専門相談員の方が外国人の方の相談に対応し、OFIXでは、英語、中国語、フィリピン語、ベトナム語の言語サポートを行いました。

【ネットワークおおさか】

- 平成28年度国際交流協会ネットワークおおさか事業
「外国人のための無料相談会」
実施日：(1)2月25日(土) (2)2月26日(日)
場 所：(1)とんだばやし国際交流協会
(2)とよなか国際交流センター
相談件数：10件(2日間合計)

OFIXと府内国際交流協会5団体で構成する「国際交流協会ネットワークおおさか」では、大阪弁護士会と連携して「外国人のための無料相談会」を開催しました。

通訳の予約できる弁護士相談は機会が少なく、普段なかなか相談できない債務整理等について、参加者は安心して相談されていました。

★ 大阪府国際化戦略実行委員会事業 ★

- おおさかグローバル塾 豪州留学コース 第2期生・短期留学

第2期生は、3月12日から24日まで、オーストラリアのクイーンズランド州において短期留学を体験しました。ブリスベン郊外のケドロン州立高校での学習プログラムに参加しながら、オーストラリアを代表する州立大学や国立大学での講義にも挑戦しました。また、留学中、現地の家庭にホームステイし、ホストファミリーとの生活を体験することで、オーストラリアの多様性を深く理解することができました。

現地の方々のさまざまなサポートのもと、積極的に学び、これまで気づけなかった自分の中の可能性を発見することもできたようです。

今後、日本で4月から7月まで長期留学準備講座に取り組みます。

★ ワン・ワールド・フェスティバル ★

- 第24回ワン・ワールド・フェスティバル
実施日：2月4日(土)・5日(日)
場 所：カンテレ扇町スクエア・北区民センター・扇町公園

西日本最大の国際協力のお祭り「第24回ワン・ワールド・フェスティバル」が盛大に開催されました。実行委員としてイベントの企画・準備に携わるJICA関西も

ブース出展され、2日間で来場者は25,000名におよび、189名のボランティアが活躍されました。

OFIXは、北区民センターにブース出展し、来場者の方に、OFIXパンフレットや事業チラシを配付し、事業紹介を行いました。多くの方から様々なご意見・ご質問をいただき、よいPRの機会となりました。

ご来場いただきました皆さま、ありがとうございました！

★ JICA大阪デスク ★

2017年2月にJICA大阪デスク(OFIX事務所内)に着任した国際協力推進員の
家谷紀子です。

JICA関西では、毎年、地域の国際協力事業をサポートするセミナー等を開催しています。昨年度は「開発教育国際教育セミナー」を全4回にわたってOFIXと

共催したほか、事業マネジメント研修基礎編（OFIX後援）を、大阪府下の国際協力団体の方々に事業計画策定の手法を習得していただく研修として実施しました。

その他、各地域の皆さんにJICAや途上国を身近に感じていただくため、地域イベントにブース等を出展しています（例えば、昨年度の「はびきの祭」ではアフリカ文化体験など）。今年度も各地の国際交流イベントに出向いていきます！

【03】府内自治体の外国語体験活動への取り組み -グローバル人材育成の礎-

国際社会のグローバル化の進展に伴い、OFIXでは、国際理解教育などグローバル人材育成に関する事業に取り組んできました。

今年2月には、文部科学省から、小中学校の教育課程の基準となる新学習指導要領案が公表され、現在、小学5年生からの英語の「外国語活動」は、小学3年生からに前倒しし、小学5・6年生では英語を正式な教科とするなど、グローバル化に対応する内容が盛り込まれています。

今号のOFIXニュースでは、このような状況下、外国語体験活動に積極的に取り組んでおられる府内自治体等の方々に寄稿していただきました。このような活動が、将来のグローバル人材育成のきっかけになるのではないのでしょうか。

● 豊中市・とよなか国際交流協会の外国語体験活動への取り組み (公財)とよなか国際交流協会 事務局長 山野上 隆史氏

豊中市では2006年度から、小学校外国語体験活動（以下、「外国語体験」という。）を実施しており、10年にわたり、とよなか国際交流協会が受託しています。

外国語体験は市立全小学校3～6年生を対象に、外国語に触れ親しむ体験を提供するプログラムです。主に地域で暮らす外国人を講師として派遣し、多様な背景や価値観を持つ外国人との出会いを提供します。子どもも外国人も同じ地域に暮らす者同士、双方に「もっと知りたい!」「伝えたい!」という積極的な態度が生まれ、多様性に対する理解が深まったりします。

外国にルーツを持つ子どもにとっては、ルーツが同じ外国人が講師として教室にやってくることで元気づけられることも多く、講師の外国人にとっても、自分の言葉や文化を学校で表現する機会がエンパワメントにつながっています。

今後も多様性を大事に、人との出会いを元気につなげていく活動に取り組んでいきたいと思えます。

● グローバル人材育成を見据えた忠岡町の英語体験事業 忠岡町教育委員会理事 土居 正幸氏

忠岡町では、英語を通じてコミュニケーション能力の向上を図るため、さまざまな体験の機会を設けています。町立保育所・幼稚園児童（5歳児）には、年6回、ネイティブスピーカーを派遣して英語で楽しむ活動を、町立小学生1～4年生の希望者には、バイリンガル講師及びネイティブスピーカーによるイングリッシュ・レッスンを実施しています（12・3月の土曜）。また町立小・中学校の希望者には、長期休暇等を活用して、英語での体験・学習活動を提供しています。昨年度は、世界に忠岡町の良いところを英語でアピールするPR動画「TADAOKA TO THE WORLD」を作成し、You Tubeで世界に発信しています。さらに、英語への関心をより高めるために、町立中学生・町内在住の中学生・高校生・専門学校生・大学生を対象に、年1回、英語検定試験の受験料を補助しています。

このように、幼い頃から英語に触れられるさまざまな英語体験の施策を試み、未来のグローバル人材輩出に努めています。

【04】コラム《私のお国自慢》

◆ オーストラリアのお祭り「イースター」 (公財)大阪府国際交流財団 国際交流員 ジェシー・デカートレイ

オーストラリアは4月になると、年始の暑さが過ぎ去り、心地よい春らしい季節となり、同時に、「イースター」(Easter:復活祭)という楽しい祭りがやってきます。イースターとは、十字架にかけられて亡くなったイエス・キリストが3日目に復活したことを祝う祭日で、キリスト教徒は教会の礼拝に行ったり、連休を利用し、家族旅行にでかけたりします。

幼い頃の私にとって、イースターといえば、何よりもチョコレート！ウサギをかたどった「イースターバニー」や卵の形をしたチョコレート

「イースターエッグ」です。ウサギは多産で、生命の象徴といわれている動物であることから、一度亡くなられたイエス・キリストが再び「命」を与えられたことと関連づけられています。

毎年家族で、「イースターエッグハント」（卵狩り）という卵形のチョコレートを探す伝統的な遊びをしました。「イースターバニー」をサンタクロースと同じような存在と信じた私と弟は、前の晩にイースターバニーのために人参やレタスなどの“ごちそう”を裏庭に置いておきました。翌朝になると、ごちそうのお礼にイースターバニーが、あちこちに置いていってくれたチョコレートの卵を探し合ったことが、今でもいい思い出として残っています。

【05】お知らせ

● 「おもてなしステーション」オープン！

3月24日（金）、大阪府、（公財）大阪観光局と西日本旅客鉄道（株）は、増加する旅行者の受入環境整備の一環として、様々なニーズに対応する「トラベルサービスセンター大阪-おもてなしステーション」をJR大阪駅中央改札正面にオープンしました。

観光案内や旅行時のトラブル等に関する総合相談、鉄道案内（英語、中国語、韓国・朝鮮語にも対応）、チケット販売、外貨両替、手荷物関連サービスなどを一体的に提供するものです。

● OFIX HP内 外国人向け生活ガイド「大阪生活必携」リニューアル

OFIXホームページ上に、大阪にお住まいの外国人の方向けの生活に必要な情報を集めた「大阪生活必携」を10言語で掲載しています。今回、OFIXの語学ボランティア等の皆様のご協力により、情報を更新しました。ぜひご活用ください。

⇒<http://www.ofix.or.jp/life/guide.html>（日本語）

【06】参加者募集

● 平成 29 年度安藤プログラム研修生募集！

アジア諸国の建築・芸術を専門とする35歳以下の若者を約1か月間大阪に招聘する安藤プログラムの研修生を募集しています。
（5月15日（月）締切）

詳しくは⇒<http://www.ofix.or.jp/training/aprogram/application.html>

● 平成29年度OFIX国際理解教育外国人サポーター募集！

OFIXでは、留学生や外国人住民の方々を外国人サポーターとして登録し、府内の小学校、中学校、中等教育学校及び高等学校等が行う国際理解教育授業に派遣しています。

府内の児童や生徒に、日本語で出身国の文化や歴史、伝統的な遊びなどを紹介し、お互いに交流してみたい方を募集しています。

詳しくは⇒<http://www.ofix.or.jp/training/education/recruit.html>

◆ JICAボランティア2017年度春募集

◇応募資格

- 青年海外協力隊／日系社会青年ボランティア
20歳-39歳の日本国籍を有する者
- シニア海外ボランティア／日系社会シニア・ボランティア
40歳-69歳の日本国籍を有する者

◇募集期間

3月31日（金）-5月10日（水）関西各地で募集説明会開催

詳しくは⇒<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

【ボラちゃん通信】

こんにちは、OFIXキャラクターのボラちゃんです。
春ですね！OFIX周辺の桜は散りはじめていますが、遅咲きの桜はもう少し楽しめるかも！？

日本の春は“桜”以外にも素敵な“お団子”がそろい踏み。
桜餅やよもぎ餅、たけのこ、山菜、初がつお・・・。

